

患者様一人一人の生活に寄り添う医療の大切さ

厚生連上越総合病院の総合診療科にて今年の4月から1ヶ月間、臨床実習をさせていただきました。様々な症状で来院される患者様の訴えに耳を傾け、自分の中にある知識や経験を総動員しながら必要な情報をお聞きし、診察を進めていくというプロセスを毎日繰り返すことで、今まで頭の中でバラバラになっていた知識が段々と繋がっていき、自分でも成長できたと胸を張って言えるような、そんな実りのある期間を過ごすことができました。

また患者様と向き合うにあたって医療者側からただ必要な医療を押し付けるのではなく、患者様お1人お1人の生活に寄り添い、患者様やそのご家族様が1番幸せに過ごせるような答えを一緒に探していく大切さを身に染みて感じる事が出来たのは、今後の自分の医師としての将来にとって大きな学びであったと実感しております。

この1ヶ月の経験を活かし、今後も一層勉学に励んで参ります。最後になりますが今回の実習に関わってくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。